

平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書

平成 23 年 6 月

国立大学法人

金沢大学

< 目 次 >

大学の概要	1
全体的な状況	7
項目別の状況	12
I 業務運営・財務内容等の状況	12
（1）業務運営の改善及び効率化に関する目標	12
①組織運営の改善に関する目標	12
②事務等の効率化・合理化に関する目標	15
特記事項	16
（2）財務内容の改善に関する目標	17
①外部研究資金，寄附金その他の自己収入の増加に関する 目標	17
②経費の抑制に関する目標	18
③資産の運用管理の改善に関する目標	19
特記事項	20
（3）自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標	21
①評価の充実に関する目標	21
②情報公開や情報発信等の推進に関する目標	22
特記事項	23
（4）その他業務運営に関する重要目標	24
①施設設備の整備・活用等に関する目標	24
②安全管理に関する目標	26
③法令遵守に関する目標	27
特記事項	28

II 予算（人件費見積もりを含む。），収支計画及び資金計画	29
III 短期借入金の限度額	29
IV 重要財産を譲渡し，又は担保に供する計画	29
V 剰余金の使途	30
VI その他	31
1. 施設・整備に関する計画	31
2. 人事に関する計画	33
別表（学部の学科，研究科の専攻等の定員未充足の状況について）	34

VI その他 2 人事に関する計画

中期計画	年度計画	実績
<p>(1) 教員について、弾力的な勤務形態を導入するため、キャリアパス制度を整備する。</p> <p>(2) 事務職員について、国立大学法人等職員採用試験のほか、語学や情報処理等専門的知識や技術・経験を有する人材確保のため、柔軟な選考方法を導入する。</p> <p>(3) 教員の教育研究能力の向上に資するため、サバティカル制度等を整備し、活用する。</p> <p>(参考) 中期目標期間中の人件費総額見込み 131,667 百万円 (退職手当は除く。)</p>	<p>・ 選択定年制、職務選択制、個人業績評価などの諸制度に関する情報を収集し、制度のフレームワーク構築に向けて検討する。 (【35-1】①)</p> <p>・ 事務職員のうち専門職として採用する職種と求めるスキル、その選考方法、将来 (キャリアパス) 等について検討する。 (【35-2】①)</p> <p>・ サバティカル制度の導入について検討する。 (【35-5】①)</p> <p>(参考1) 平成22年度の常勤職員数 2,242人 また、任期付職員数の見込みを 294人とする。 (参考2) 平成22年度の人件費総額見込み 22,450 百万円 (退職手当は除く。)</p>	<p>・ 教員のキャリアパス検討 WG を開催し、選択定年制、職務選択制、個人業績評価等の諸制度について、各分科会の中間報告やこれまで収集した情報を基に議論を行い、フレームワーク構築に向けた検討を行った。 さらに検討するにあたり、選択定年制、職務選択制を取った場合の人件費のシミュレーションの実施に着手した。</p> <p>・ 事務職員のうち、専門職として採用する職種と求めるスキルについて、語学・情報処理以外の分野で事務職員に対してどのような専門的知識のニーズがあるかを把握するために、局長・部長連絡会において、「事務職員のうち専門職として採用する職種と求めるスキル、その選考方法、将来 (キャリアパス) 等について」意見交換を行った。 各部署から寄せられた専門性の高い資格、その選考方法、キャリアパスに関する意見を踏まえ、既知の語学・情報処理分野と併せて、引き続き検討することとした。</p> <p>・ キャリアパス検討 WG サバティカル分科会において検討し、とりまとめた方向性を踏まえてサバティカル研修規程の素案を取りまとめるなど、制度の導入に向けた検討を進めた。</p>